

目 次

日中共同研究者一覧

第1章 令和4年度 知的財産保護包括協力推進事業の概要	1
第1節 共同研究の背景と目的	2
第2節 共同研究の概要	3
第3節 研究者会議、意見交換の概要	5
第2章 知財に係る事案の解決に関する比較研究	17
第1節 研究内容の要約	18
第2節 中国における知財に係る事案の解決	22
Ⅰ. 「専利侵害の先使用例外の適用問題に関する研究」	
管 育鷹 教授（中国社会科学院）	22
Ⅱ. 「専利の均等侵害原則における若干問題に関する研究」	
曹 新明 教授（中南財經政法大学）	40
Ⅲ. 「中国における均等侵害制限規定の適用 - 日中比較を中心として」	
張 鵬 専任研究員（中国社会科学院）	56
第3節 日本における知財に係る事案の解決	74
Ⅰ. 「役割分担の観点からみた日本の均等論の制度論的研究」	
田村 善之 教授（東京大学）	74
Ⅱ. 「実施促進説から解釈する先使用制度の現代的な意義 - 特に用途発明、 パラメータ発明からパブリック・ドメインを保護するために -」	
吉田 広志 教授（北海道大学）	102
第3章 商標権に基づく不当な権利行使に関する研究	125
第1節 研究内容の要約	126
第2節 中国における商標権に基づく不当な権利行使	128
Ⅰ. 「悪意の商標出願を論じる - 概念の体系的解説及び規範適用の分析」	
呉 漢東 教授（中南財經政法大学）	128
Ⅱ. 「商標権の不当な行使に関する研究」	
李 明德 教授（中国社会科学院）	148
Ⅲ. 「中国における商標権濫用法理の適用及びその再考」	
顧 昕 首席研究員（CNIPA知識産権発展センター）	168
第3節 日本における商標権に基づく不当な権利行使	180
Ⅰ. 「日本法における商標権の濫用」	
小塚 莊一郎 教授（学習院大学）	180
Ⅱ. 「商標権に基づく不当な権利行使による法的責任 - 日本法の観点から」	
金子 敏哉 教授（明治大学）	198

※ 本報告書の中国側研究者の報告書は、一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所が翻訳を担当した。なお、文中の訳注は[]で表記している。

本報告書は、一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 大屋静男 研究部長、井手李咲 主任研究員、高井康好 主任研究員、岡坂和遵 主任研究員、坂治深雪 補助研究員、石本愛美 補助研究員が担当した。